

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 8 年 1 月 23 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 8 年 2 月 25 日（水）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

- ‘カワヅザクラ’の農業利用・観光利用に向けた取組・・・・・・・・・・ 1
(農林技術研究所伊豆農業研究センター)
- 河津桜の開花は2月上旬の見込みです！
- ～令和8年春の賀茂地域における河津桜開花予測～・・・・・・・・・・ 11
(農林技術研究所伊豆農業研究センター)

◎令和8年2月の行事予定

- 行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ＜賀茂キャンパス活用プログラム＞
- 静岡大学オリジナルリカレント教育プログラム・・・・・・・・・・ 14
(賀茂地域局)
- ＜賀茂キャンパス活用プログラム＞
- 日本のシンボル！ 富士山講座を開講します！・・・・・・・・・・ 16
(賀茂地域局)
- ＜賀茂キャンパス活用プログラム＞
- 「静岡県立大学 社会人講座」第44回講座・・・・・・・・・・ 18
(賀茂地域局)
- 令和7年度第2回賀茂地域災害ボランティア研修会の開催・・・・・・・・ 20
(賀茂地域局)
- 2月の防災講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
(賀茂地域局)
- 「駿河湾フェリー×航路さんぽ 日本一を巡る伊豆・静岡旅ラリー」
を実施します！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
(伊豆観光局)
- 賀茂圏域住民の生活習慣病予防のため、地域・職域で課題を検討します！・・ 25
(賀茂健康福祉センター)
- 摂食・嚥下障害のある患者への栄養ケアを学びます！・・・・・・・・・・ 26
(賀茂健康福祉センター)
- 日常活動や研究成果の発表を行う研究会を開催します！・・・・・・・・ 27
(賀茂健康福祉センター)
- 工事安全パトロールの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
(賀茂農林事務所)
- 第17回伊豆農業研究センター 公開デー・・・・・・・・・・ 31
(農林技術研究所伊豆農業研究センター)
- 春季観光イベント期間における道路工事の自粛について・・・・・・・・ 32
(下田土木事務所)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	<small>あおき</small> 青木 <small>かつひろ</small> 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	<small>まつおか</small> 松岡 <small>ひろのり</small> 宏典
3	東部地域局伊豆観光局長	<small>ささの</small> <small>つとむ</small> 笹野 努(欠席)
4	下田財務事務所長	<small>たけだ</small> <small>としき</small> 竹田 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	<small>わたなべ</small> <small>しん</small> 渡辺 心
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	<small>ほんま</small> <small>よしゆき</small> 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	<small>じょうけ</small> <small>まこと</small> 上家 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	<small>ば</small> <small>ふ</small> <small>じ</small> <small>お</small> 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	<small>わしやま</small> <small>ひろふみ</small> 鷺山 裕史 (代理出席)
10	下田土木事務所長	<small>すがぬま</small> <small>ただつぐ</small> 菅沼 忠嗣
11	賀茂広域消費生活センター所長	<small>まつひさ</small> <small>まゆみ</small> 松久 真弓
12	賀茂出納室長	<small>まつなが</small> <small>としの</small> 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	<small>みむろ</small> <small>なおこ</small> 三室 直子(欠席)
14	賀茂地域局次長兼地域課長	<small>いいだ</small> <small>まさゆき</small> 飯田 雅之
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	<small>はかまだ</small> <small>こうじ</small> 袴田 晃司

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)

柱

スクリーン

伊豆農業研究センター長

○

PC

専門官兼
賀茂広域消費生活
センター長
賀茂出納室長
○
○
○

水産・海洋技術研究所
伊豆分場長(代理出席)
○

プロ
ジェクター

賀茂健康福祉
センター長
賀茂保健所長
○
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂地域局長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

下田財務事務所長
○
賀茂危機管理監
副局長兼
賀茂地域局長
○
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

地域次長兼
課長
○
危機参事兼
管理課長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

賀茂農林事務所長
○
賀茂保健所長
○
賀茂健康福祉
センター長
○

出入口

記者席

‘カワヅザクラ’の農業利用・ 観光利用に向けた取組



幸福度日本一の静岡県



静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター

伊豆農業研究センターの馬場です。

今回は伊豆農業研究センターにおける「カワヅザクラの農業利用・観光利用に向けた取組」について発表いたします。

伊豆農業研究センターの概要

- 生育・加工技術科
(果樹・花き・野菜類)

新品種育成

栽培技術開発

新規導入作物開発

観光資源開発・地域振興

- サクラの探索と利用
- 観光向け技術(→開花予測)
- 栽培技術開発(→切り枝生産)



- わさび生産技術科

新品種育成

栽培技術開発



伊豆農業研究センターは伊豆地域に特化した農作物、現在は、中晩生カンキツを中心とした果樹、カーネーションやマーガレットなどの特産花き、ワサビを主な研究対象としています。

ワサビ研究は専門の研究機関である、伊豆市のわさび生産技術科で実施しています。

農業振興の他にも、観光資源開発および地域振興もテーマとしています。

今回は、カワヅザクラに関するこれまでの研究と開花の予測についてお話しします。

伊豆地域のサクラ研究

昭和47～平成13年、静岡県有用植物園、伊豆振興センター南伊豆農場、農業試験場南伊豆分場

伊豆環境緑化推進協議会の立ち上げ（昭和47年）

<目的>

地域の特色ある植物を利用して、地域振興を図る。

静岡県：有用植物園、下田林業事務所、賀茂農業改良普及所

市町村：伊東市、下田市、河津町、東伊豆町、西伊豆町、南伊豆町、松崎町、土肥町、賀茂村

自生するサクラを調査 ➡ 7品種を選定



‘ミナトザクラ’



‘オキチザクラ’



‘オオシマ早生’



‘ベニカンザクラ’



‘カンザクラ’



‘オオカンザクラ’



‘カワヅザクラ’

南伊豆町で母樹園
を設置・増殖開始

伊豆農業研究センターはこれまで組織名称を変更しながら、昭和40年代から継続して、伊豆地域のサクラの研究を続けてきました。

最初の実組として、農業資源、観光資源となるサクラの探索を行いました。
伊豆地域には自生のサクラが数多く存在します。

カワヅザクラについては、その早咲き性と花の特徴から、南伊豆町に母樹園を設置し、苗木を増殖、地域への提供を行いました。

「河津桜まつり」と「みなみの桜と菜の花まつり」

静岡県伊豆地域振興センターで
増殖、配布した‘カワヅザクラ’ 1,852本

1,230本

502本



河津桜まつり
河津町



みなみの桜と菜の花まつり
南伊豆町

賀茂地区の観光イベントの来客数（千人）

イベント名	開催時期	開催年度	
		H28年度	R5年度
黒船祭	5月	201	203
あじさい祭	6月	136	106
水仙まつり	12月～1月	200	140
河津桜まつり	2月～3月	936	623
みなみの桜と菜の花まつり	2月～3月	208	255

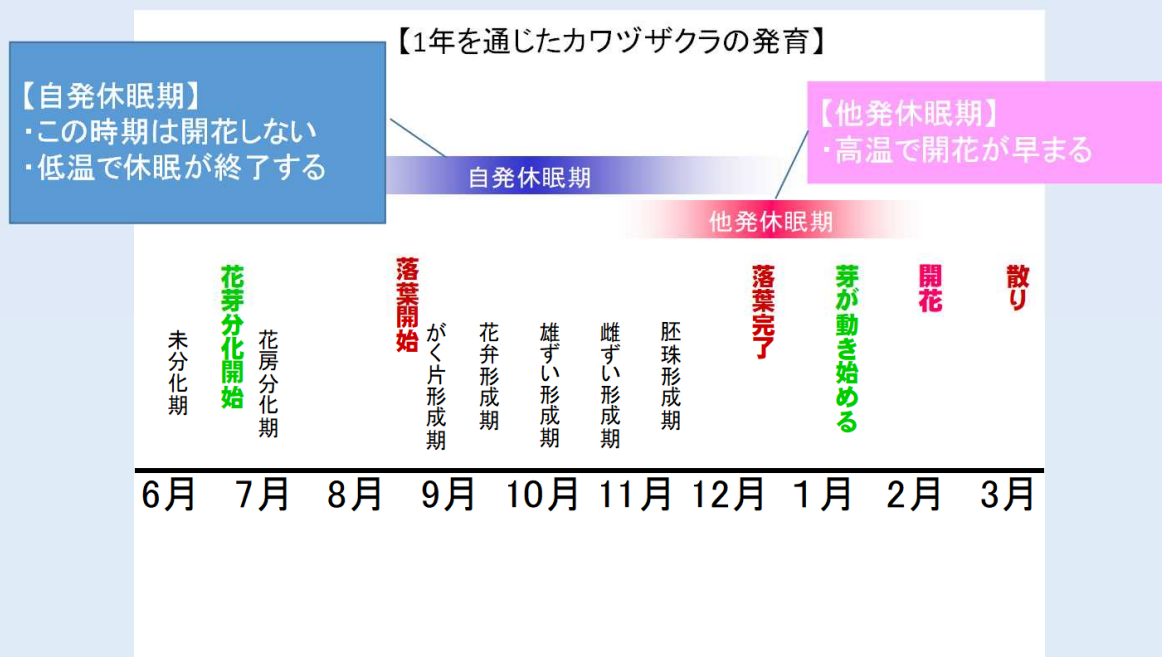
出展：南伊豆のすがた

来客数賀茂地区
No.1イベント

伊豆半島の重要な観光資源に成長

河津町の河津川、南伊豆町の青野川沿いに植栽されたサクラは2～3月に河津町、南伊豆町で開催される「桜祭り」として、賀茂郡内最大で、伊豆地域を代表するイベントとなっています。

カワヅザクラの開花予測



ここで、カワヅザクラの開花について、説明したいと思います。

サクラは花を咲かせる状態を整えるため、また、適切な時期に開花させるため、樹体内で「休眠」という現象が起こっています。

休眠には、樹体内で生じている「自発休眠」と主に温度などの環境により発達が制限される「他発休眠」の2種類が存在しています。

サクラが花の芽を作り始める「花芽分化」は葉が茂っている前年の6月頃に始まります。分化した花芽は6～11月頃まで花として咲く状態まで発達します。

この発達と自発休眠の終了は主にこの期間の低温で進みます。

自発休眠が終了する「休眠覚醒期」は例年12月上旬頃ですが、それまでの気温により前後します。

休眠覚醒後は他発休眠期となり、開花まで温度が高ければ早くなるなど、環境温度により速度が前後します。これは、日平均気温で算出が可能です。

このため、12月の休眠覚醒時期や、蕾の動き始め時期を特定することは困難ですが、ある程度蕾が発達した段階であれば、環境気温から開花の予測が可能となります。

花芽の発達と温度の関係を利用した開花予測の仕組み



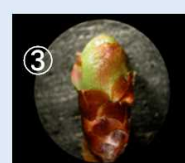
① 自発休眠覚醒



② 緑が見え始める



③ 半分以上が緑



④ 頭部が見え始める



⑤ 頭部が割れる



⑥ 花の色が見え始める



⑦ 花が飛び出す



⑧ 開花

花芽の発達過程		日平均気温の積算値(°C)
0	自発休眠覚醒	0
1	緑が見え始める	216 ± 23
2	半分以上が緑	253 ± 22
3	頭部が見え始める	302 ± 19
4	頭部が割れる	372 ± 25
5	花の色が見え始める	406 ± 25
6	花が飛び出す	430 ± 26
7	開花	467 ± 22

緑が見え始める(①)から開花(⑦)までの日平均気温の積算値は251°C
(例: 10°Cの日が25日続けば開花)

こちらはセンターで開発したカワヅザクラの蕾ステージの外観上の分類と開花までの日積算温度の一覧となります。

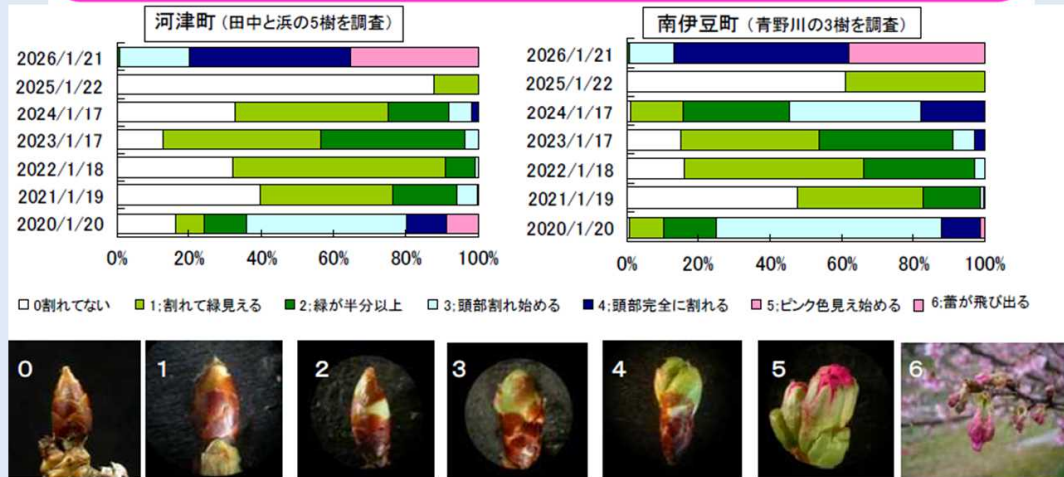
休眠覚醒直後のステージ①から蕾先端の緑色が見え始めるステージ②までは日積算気温216°Cです。ステージ②からステージ⑦の開花までは467-216で251°Cとなります。

同様にステージ③からは214°C、ステージ④からは67°C、ステージ⑤からは37°Cです。この時期の日平均気温は7~10°C程度ですので、10°Cであれば50°Cの積算は5日、100°Cであれば10日7°Cであれば同様に約7日、100°Cであれば約14日となります。

実際の気温は変化するので、予測は気象庁の発表するアメダスデータと気温予測に基づいて算出しています。

令和7年度(2026年2月)の開花状況

河津町、南伊豆町ともに、花芽の発育は過去6年との比較でも早く進んでおり、ピンク色が見え始めた花芽は3割を超えている。しかし今後1週間の気温は寒波の影響で平年比 -1.8°C 、その後も -1°C で推移する予測なので、一端、花芽の発育はごくゆっくりとなる見込み。このため、2分咲きは2月上旬、満開は中頃と予測する。しかし、進み具合は場所によりばらついているため、開花時期は同一町内でも1週間程度の幅が生じる可能性がある。



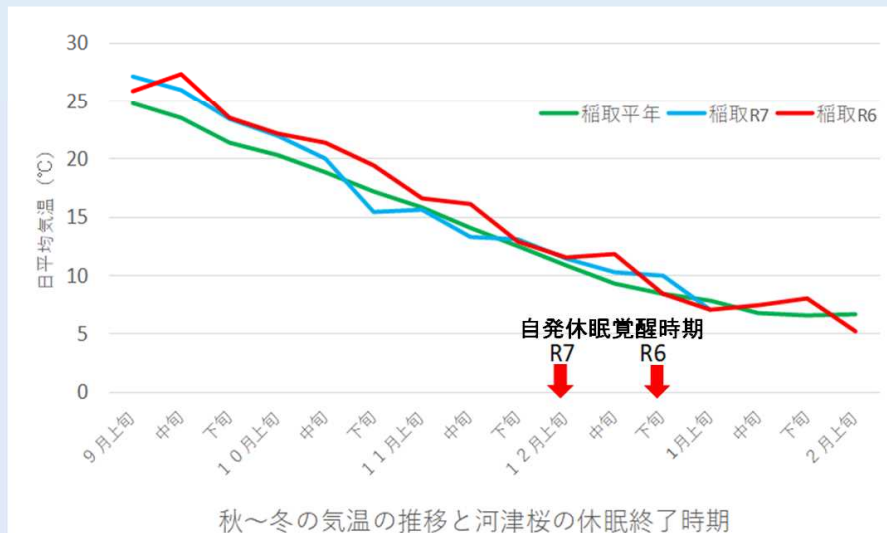
カワヅザクラは(植えられている場所)の環境温度が異なるため、開花が前後しますが、同じ樹体内でもばらつきが大きい傾向があります。

比較的気温が高い地表部分の開花が早く、樹の高い部分にある枝の開花が遅かったり、河川沿いなど水面に近い部分の開花が遅かったりといった傾向もあります。

このため、センターでの開花予測は 河津町では5樹、南伊豆町では3樹と、調査する樹および枝を定め、その枝に着生している花芽の発達を計測、計測した数値の平均から全体の開花日として算出するようにしています。

昨シーズンとの違い

- 秋季の気温の影響で自発休眠終了時期が大幅に異なる
- 今シーズンの自発休眠は昨シーズンより早く終了しており、その後、早い時期から開花に向けた花芽の発育が始まっていたと見られる



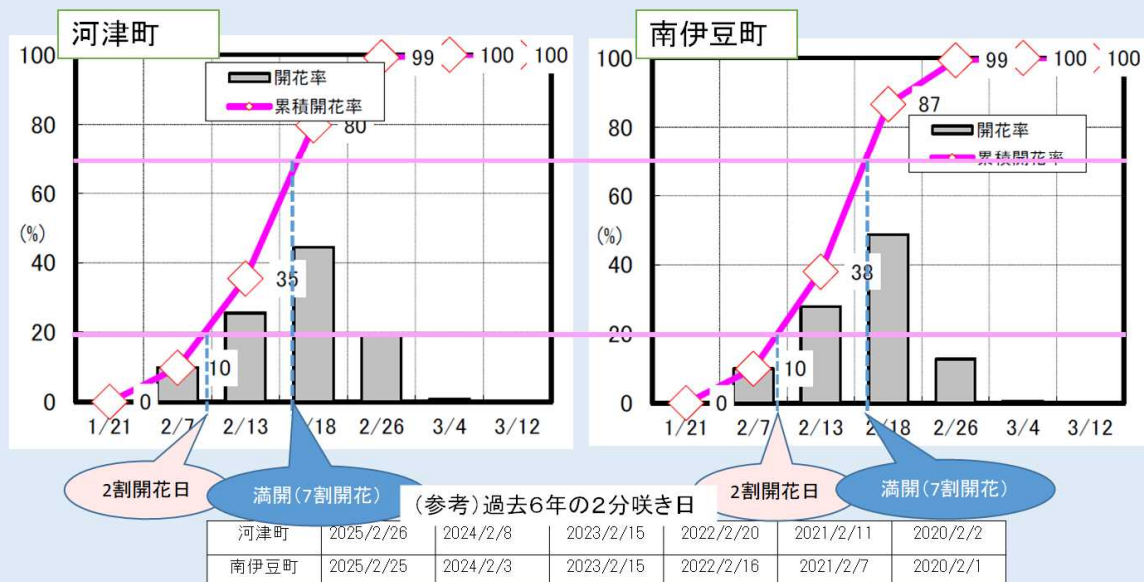
本シーズンは1月の調査開始時点から蕾の発達(動き始め)が確認され、昨年よりも蕾の発達が早い状態です。

昨シーズン(2024年)は12月の気温が高かったのですが、それ以前の気温も高かったため、先ほど説明した自発休眠の覚醒(明け)が遅れ、そのまま開花の遅れにつながったと予想されます。

今年は10～11月に気温の低い時期が続いたため、自発休眠の覚醒が早く、その後気温がやや高く推移しているため、蕾の発達が早まったと予想されます。

現時点での開花予測(R8.1.21)

- ・主要地帯の開花始め(2分咲き)は2月上旬と予想。
昨年より大幅に早く、一昨年(2024年)や2020年並。



これらの条件と現在の状況から、現在の開花予測はお示した図のようになります。

今年は例年になく開花が早く、2分咲きは2月上旬頃と予想されます。

このようにカワヅザクラの開花は環境によるバラツキが大きいことから、今後は農業関係者、観光関係者など地域の皆様に本システムを利用いただき、地域のカワヅザクラの開花が発信できるようなお手伝いをしていきたいと考えています。

カワヅザクラの農業利用に向けた取組 ＜カワヅザクラの切り枝生産＞

果樹栽培の技術を応用した「ジョイント栽培」による切り枝生産技術の開発

- ・ 作業性改善, 早期成園化, 切り枝の斉一性および安定生産
- ・ 花付きをよくするための技術を導入:(環状はく皮、剪定・誘引)
- ・ 収穫した切り枝の開花時期調節による計画出荷



ジョイントほ場



開花調節技術による計画出荷



切り枝の出荷姿

なお、伊豆農業研究センターでは、農業生産としてカワヅザクラの切り枝利用の研究も行ってきました。

説明したとおり、カワヅザクラの開花には休眠の覚醒と温度が必要なことから、これらをコントロールする技術を開発、通常よりも早く出荷するための収穫や調整のマニュアルを作成しています。

また、苗木の状態から花を咲かせ収穫できる状態の樹に育て、均一な切り枝を生産するための仕立て方法も開発しています。

これは、同じバラ科の果樹である「ナシ」で神奈川県が開発した「ジョイント仕立て」をサクラに応用した方法で、この手法により、早期成園化が実用できるようになりました。

今後は遊休農地対策などに、カワヅザクラ切り枝ほ場の利用を検討していきたいと考えています。

提 供 日 2026/01/23

タイトル 河津桜の開花は2月上旬の見込みです！

～令和8年春の賀茂地域における河津桜開花予測～

担 当 農林技術研究所・伊豆農業研究センター

連絡先 生育・加工技術科 加藤

TEL 0557-95-2341



幸福度日本一の静岡県

河津桜の開花は2月上旬の見込みです！

～令和8年春の賀茂地域における河津桜開花予測～

1 要旨

静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターは、賀茂地域の最も大きな観光資源の一つとなっている河津桜の開花予測を行っています。

直近の調査の結果、本年の開花は2月上旬の見込みです。

2 内 容

- ・花芽の発育は昨年より早く進んでいます。
- ・昨年度は秋季の気温が平年より高く推移したのに対し、今年度は10月中旬以降平年より低く推移したことで自発休眠の終了が早まり、花芽の発育に影響を与えたと推測されます。
- ・この結果、今年の開花開始は2月上旬と予測し、昨年の開花開始時期の2月末よりも早まる見込みです。

※開花開始とは2分咲きとなった時点

(参考) 過去6年の開花開始日

河津町	2025/2/26	2024/2/8	2023/2/15	2022/2/20	2021/2/11	2020/2/2
南伊豆町	2025/2/25	2024/2/3	2023/2/15	2022/2/16	2021/2/7	2020/2/1

3 今後の予定

- ・引き続き、花芽の発育を調査し、開花開始（2分咲き）、満開（7分咲き）、咲き終わり（6分散り）時期を予測します。
- ・開花予測は、県ホームページ内の伊豆農業研究センターページ (www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/izunogyo/1034342.html) において公表しますので御確認ください。

行事予定表（令和8年2月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	日					春季道路工事抑制期間 2/1～2/28
2	月	防災講座（賀茂地区図書館研究会） 13:10-14:10 安良里中央公民館				
3	火					
4	水			栄養士研修会（摂食・嚥下研修会） 14:00-16:30旧方面本部室		
5	木				工事安全パトロール 10:20-11:20 下田市内	
6	金					
7	土	静岡大学オリジナルリカレント教育 プログラム 13:00-17:00 下田市内				
8	日	静岡大学オリジナルリカレント教育 プログラム 9:00-16:00 賀茂キャンパス				
9	月	災害ボランティア研修会 14:00-16:30 賀茂危機管理庁舎		地域保健医療福祉活動研究会 13:30-16:30賀茂キャンパス		
10	火	富士山講座 13:30-15:00 賀茂キャンパス				
11	水					
12	木					
13	金					
14	土					
15	日					
16	月	防災講座（聖和保育園） 11:00-12:00 聖和保育園				
17	火					
18	水					
19	木					
20	金	静岡県立大学 社会人講座 13:30-15:00 賀茂キャンパス				
21	土					
22	日					
23	月					
24	火					
25	水	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	木					
27	金					
28	土					

行事予定表（令和8年2月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	日					
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					駿河湾フェリー×航路さんぽ スタンプラリー（～3/23）
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水					
12	木					
13	金					
14	土					
15	日					
16	月					
17	火					
18	水					
19	木					
20	金					
21	土					
22	日					
23	月	第17回伊豆農業研究センター公開デー 9:30-15:00 伊豆農業研究センター				
24	火					
25	水					
26	木					
27	金					
28	土					

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学オリジナルリカレント教育プログラム

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡大学との協働により、システム思考とデザイン思考のエッセンスを学ぶことを目的とした「オリジナルリカレント教育プログラム」を実施する。

※システム思考…眼前の現象を地球環境や社会経済情勢などマクロな因果関係のもとで把握していく

※デザイン思考…微細な観察をもとに既存の思い込みを越えた洞察（インサイト）を生み出す

(概要)

日 時	令和8年2月7日（土） 13：00～17：00	令和8年2月8日（日） 9：00～16：00
会 場	下田市内 (集合：伊豆急下田駅)	賀茂キャンパス (下田総合庁舎別館2階)
内 容	フィールドワーク	グループワーク 発表・考察、講評
参加者	県内外の企業等に勤務している現役社会人を中心とした10名	
共 催	静岡大学地域創造教育センター 賀茂キャンパス活用推進委員会（事務局：賀茂地域局）	

※当日の連絡先：静岡大学 辻本講師（090-1936-3815）

担 当：地域課 菅尾
連絡先：0558-24-2202

静岡大学オリジナル

リカレント教育プログラム

地域社会の 未来をつくる 思考法

フィールドで学ぶ システム思考 × デザイン思考

2026 **2.7** 土 → **2.8** 日

7日(土) 13:00-17:00 (終了後 懇親会予定(希望者))

8日(日) 9:00-16:00

場所 賀茂キャンパス (静岡県下田総合庁舎 別館2階)
静岡県下田市中531-1

受講料
無料

・懇親会費は別途自費負担
・宿泊される方はご自身で
手配・負担

定員
10名

自然環境や社会情勢が予測不可能に複雑化するなか、課題の特定・分解とその解決策の立案、という従来型の思考法のみで地域課題を解決することは難しくなっています。そうした中で注目されている新たな思考法が、眼前の現象を地球環境や社会経済情勢などマクロな因果関係のもとで把握していく「システム思考」と、微細な観察をもとに既存の思い込みを越えた洞察(インサイト)を生み出す「デザイン思考」です。本セミナーでは、下田のまちを二日間にわたりフィールドワークしながら、参加者・講師陣の協働によって地域課題の深い理解に向けたリサーチを行い、システム思考とデザイン思考のエッセンスを学びます。

講師

山本 隆太

静岡大学地域創造教育センター准教授

松園 美帆

ストラテジックデザイナー

申込方法

申込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/L0TSrHrgjH>

※メールアドレス、氏名(フリガナ)、
電話番号、ご所属を入力してください。

申込締切：1月29日(木)



【問い合わせ】静岡大学地域創造教育センター 地域人材育成・プロジェクト部門
E-mail : kaiho[at]suml.cii.shizuoka.ac.jp ※[at] を@に変更してご利用ください。

【主催】静岡大学地域創造教育センター
【共催】賀茂キャンパス活用推進委員会

令和8年1月23日

定例記者懇談会資料

<賀茂キャンパス活用プログラム>

日本のシンボル！ 富士山講座を開講します！

(賀茂地域局)

(要旨)

静岡県富士山世界遺産センターより講師を招き、住民向けの富士山講座を令和8年2月10日（火）に賀茂キャンパスで実施する。

(概要)

日 時	令和8年2月10日（火） 13:30～15:00
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに御協力願います。
内 容	講師：静岡県富士山世界遺産センター教授 大高 康正 氏 演題：「富士山信仰を歴史から学ぶ」 原始・古代から中世、近世、近代にかけて移り変わる時代の中で、富士山への信仰を遙拝・登拝・巡拝・近大登山といった流れから学んでいきます。
参 加 費	無料
申込方法	右記QR：  電話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
問 合 先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2202 主催：賀茂キャンパス活用推進委員会（事務局：静岡県賀茂地域局）

担 当：地域課 菅尾、植田
電話番号：0558-24-2202

富士山信仰を 歴史から学ぶ

2026年2月10日(火)
13:30-15:00

📍 静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス
〔下田市中531-1〕

参加費 **無料**

富士山講座
開講します!

原始・古代から中世、近世、近代にかけて移り変わる時代の中で、
富士山への信仰を遙^{よう}拝^{はい}・登^と拝^{はい}・巡^{じゅん}拝^{ばい}・近代登山といった流れから学
んでいきます。

講師

静岡県富士山世界遺産センター 教授
大高 康正 氏



✓ お申し込みは
こちらから

申込方法

いずれかの方法でお申し込みください
・QR
・電話:0558-24-2202
・メール:kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp



事前の知識や準備は不要です。どなたでもご参加いただけます。

問合せ先 静岡県賀茂地域局 TEL:0558-24-2202

主催 賀茂キャンパス活用推進委員会(事務局:静岡県賀茂地域局)

令和8年1月23日

定例記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

「静岡県立大学 社会人講座」第44回講座


(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による社会人講座の第44回講座を令和8年2月20日（金）に開催します。

※参加費は無料（今回のみの参加も可能）

(概要)

日 時	令和8年2月20日（金） 13:30～15:00
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに御協力願います。
内 容	講師：静岡県立大学大学院 経営情報イノベーション研究科/経営情報学部観光マネジメントメジャー 教授 内海 佐和子 氏 演題：「エモくてディープ！ 下田まち歩きツアーを作ろうワークショップ」
対 象	県民など
参加費	無料
申 込	QR :  電 話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
共 催	静岡県立大学 賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県賀茂地域局ほか）

担 当：地域課 菅尾、植田
電話番号：0558-24-2202

参加費
無料

賀茂キャンパス活用プログラム

社会人講座

エモくてディープ！
人

下田まち歩きツアーを
作ろう

ワークショップ

R8 2.20金 13:30-15:00

静岡県下田総合庁舎別館2階
賀茂キャンパス（下田市中531-1）

風光明媚で、温暖な気候、歴史もある、おいしいものもいろいろ。そんな下田。
でも、有名な観光スポットの陰には、まだまだ知られていない魅力が残っています。
観光客にもっとまちを歩いてほしい。にぎわいを創出していきたい。
そこで、下田が好きな皆さんでエモくてディープな下田まち歩きツアーを考えてみませんか？

*エモい：言い表しにくい、何とも言えない感動や感情を指す。英語の"emotional"が語源。「映える」にとって代わる若者言葉。

講師

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科
経営情報学部観光マネジメントメジャー 教授

内海 佐和子氏

申込方法

いずれかの方法でお申込みください

- QR
- 電話：0558-24-2202
- メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp



共催

静岡県立大学、賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県賀茂地域局ほか）

定例記者懇談会資料

令和7年度第2回賀茂地域災害ボランティア研修会の開催

(賀茂地域局)

(目的)

日頃の活動の情報共有や各市町におけるボランティア活動について意見交換する機会を創出し、県、各市町、社会福祉協議会、災害ボランティア団体が、顔の見える関係を構築する。

(概要)

1 日時

令和8年2月9日(月) 14:00～16:30

2 場所

静岡県賀茂危機管理庁舎 1階各班室

3 内容

講演及びグループワーク

講師：社会福祉法人 富士市社会福祉協議会 加藤慎也氏

講演：災害支援から動き始めた 富士市版「ちょっと無理が言える」関係づくり
～被災者の言葉「大丈夫」からみえたこと～

講演の間に「被災された方のお大丈夫に対する気づき」や「地域で頼れる人(ちょっとだけ無理が言える関係)」についてグループワークを行う予定です。

4 参加関係団体(予定)

賀茂管内の各市町、社会福祉協議会、災害ボランティア団体、賀茂地域局

担当：危機管理課 高畑

連絡先：0558-24-2004

2月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	2月2日(月) 13:10～14:10	安良里中央公民館 (西伊豆町)	賀茂地区 図書館職員 約30人	防災講話(図書館と災害対策)
②	2月16日(月) 11:00～12:00	聖和保育園 (松崎町)	保護者 約60人	避難所運営ゲーム (HUG)

(お願い)

- ・防災講座の取材においては、各学校等まで取材を行う旨を御連絡ください。
- ・講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木
連絡先：0558-24-2004

「駿河湾フェリー×航路さんぽ 日本一を巡る伊豆・静岡旅ラリー」を実施します！

(伊豆観光局)

1 要旨

静岡県には、日本一高い山「富士山」や日本一を誇る「プラモデル製造」など数多くの“日本一”が存在します。県では、駿河湾フェリーを使って伊豆地域・静岡市内の“日本一”を巡るスタンプラリーを実施します。日本一深い駿河湾を横断する「駿河湾フェリー」をはじめ、日本一のプラモデル製造を支える「BHCPDII MUSEUM（バンダイホビーセンター新工場）」や、幕末期に日本初の開港場となった下田港に近接する「道の駅 開国下田みなと」など、全8か所を巡るスタンプラリーです。スタンプ4個取得から豪華景品が当たる抽選に応募可能です。

2 実施概要

項目	内容
期間	令和8年2月6日（金）～3月23日（月）
スタンプ設置施設	①駿河湾フェリー（船内） ②BHCPDII MUSEUM（バンダイホビーセンター新工場）（静岡市） ③清水魚市場 河岸の市（静岡市） ④テラッセオレンジトイ（伊豆市） ⑤黄金崎公園休憩施設 こがねすと（西伊豆町） ⑥国指定重要文化財 岩科学学校（松崎町） ⑦石廊崎オーシャンパーク（南伊豆町） ⑧道の駅 開国下田みなと（下田市）
スタンプ取得方法	各施設に設置してあるスタンプ台紙に押印
景品	スタンプ取得数に応じて抽選で60名様に景品贈呈 ・静岡・伊豆地域特産品 5,000円相当 ・バンダイホビーセンター工場見学ペアチケット
主催／協力	主催：静岡県 協力：(株)BANDAI SPIRITS



担 当：地域課 武井、駒谷
連絡先：055-920-2139





スタンプラリー

駿河湾フェリー

×

航路せんぽ

日本一を巡る
伊豆・静岡旅ラリー

2026.2.6 fri ~ 3.23 mon



日本一深い駿河湾と日本一高い富士山を同時に楽しめる
駿河湾フェリーに乗って静岡県の“日本一”を巡る旅に出よう!!

参加方法

スタンプを集めて豪華景品をゲットしよう!

STEP 1



スタンプラリー施設(裏面参照)で
スタンプ台紙を取得

STEP 2



施設を巡り
スタンプをゲット!

STEP 3



台紙のフォームから
抽選に応募!

スタンプを集めて豪華景品をゲットしよう!

特賞A

8個全スタンプ
ゲットで

「静岡・伊豆地域の
特産品5,000円相当」

プレゼント

抽選で
10名様

特賞B

スタンプ
6個以上ゲットで

「静岡・伊豆地域の
特産品3,000円相当」
または
「BHCPDII MUSEUM
工場見学ペアチケット」
プレゼント

抽選で
20名様

特賞C

スタンプ
4個以上ゲットで

「BHCPDII MUSEUM
または
駿河湾フェリーの
オリジナルグッズ」

プレゼント

抽選で
30名様

★駿河湾フェリーのスタンプは取得必須

スタンプラリー施設一覧



駿河湾フェリー (船内) ★必ず取得

- ▶ 時刻表 清水港発 ①7:40 ②11:20 ③14:40
土肥港発 ①9:35 ②13:00 ③16:30
- ▶ 運賃 大人2,000円
小人(小学生)1,000円
※復路割引10%

黄金崎公園休憩施設 こがねすて (西伊豆町)

- ▶ 営業時間 9:00~17:00
- ▶ 休館日 火(祝日営業)、荒天時
- ▶ 料金 無料
- ▶ 駐車場 無料駐車場あり

BHCPDII MUSEUM (静岡市) (バンダイホビーセンター新工場)

- ▶ 営業時間 9:00~17:30 (予約制)
- ▶ 料金 大人...2,860円
小人(6~12歳)...1,100円
※未就学児無料
- ▶ 休館日 日・月・祝日・年末年始
- ▶ 駐車場 なし

国指定重要文化財 岩科学学校 (松崎町)

- ▶ 営業時間 9:00~17:00
- ▶ 休館日 木(祝日の場合は直前の平日)
- ▶ 料金 大人300円 中学生以下無料
- ▶ 駐車場 無料駐車場あり

清水魚市場 河岸の市 (静岡市)

- ▶ 営業時間 9:30~17:30
- ▶ 休館日 水ほか(一部飲食店は営業)
- ▶ 料金 無料
- ▶ 駐車場 有料駐車場あり(平日は30分まで無料)

道の駅 開国下田みなと (下田市)

- ▶ 営業時間 9:00~17:00 (店舗により異なる)
- ▶ 休館日 年中無休(テナントは不定休)
- ▶ 料金 無料
- ▶ 駐車場 無料駐車場あり

テラッセオレンジトイ (伊豆市)

- ▶ 営業時間 9:00~17:00
- ▶ 休館日 年中無休
- ▶ 料金 無料
- ▶ 駐車場 有料駐車場あり(2時間無料 以降60分300円)

石廊崎オーシャンパーク (南伊豆町)

- ▶ 営業時間 9:00~16:00
- ▶ 休館日 年中無休
- ▶ 料金 無料
- ▶ 駐車場 有料駐車場あり

#ハッシュタグキャンペーン

期間中、1つでもスタンプを押した台紙の写真を「#駿河湾フェリー旅ラリー」をつけてXでポストした方に、**限定ステッカー**をプレゼント!
駿河湾フェリー清水港乗り場窓口で投稿画面を提示してください。

※数に限りがございます

主催

静岡県

協力

(株)BANDAI SPIRITS

お問合せ

静岡県東部地域局

☎055-920-2139

令和8年1月23日

定例記者懇談会資料

賀茂圏域住民の生活習慣病予防のため、地域・職域で課題を検討します！

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

「第4次静岡県健康増進計画」の賀茂地域別計画に基づき、地域・職域関係機関の情報共有及び連携強化を図ることで、圏域住民の生活習慣病予防対策を総合的に推進することを主たる目的として、賀茂圏域生活習慣病対策連絡会を開催する。

(概要) 令和7年度賀茂圏域生活習慣病対策連絡会

日 時	令和8年1月28日(水) 14:00～16:00
会 場	静岡県下田総合庁舎2階第8会議室(賀茂キャンパス) (下田市中 531-1)
内 容	・管内の健康状況と地域別計画の進捗状況(報告) ・意見交換
構成委員	賀茂医師会、賀茂歯科医師会、賀茂薬剤師会、静岡県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会静岡支部、三島労働基準監督署下田駐在事務所、健康づくり食生活推進協議会、管内市町商工会議所及び商工会、管内各市町及び静岡県賀茂健康福祉センター

(その他)

取材いただける場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。

担 当：健康増進課
連絡先：0558-24-2037

定例記者懇談会資料

摂食・嚥下障害のある患者への栄養ケアを学びます！

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

病院及び高齢者給食施設において、摂食・嚥下障害のある患者や入所者に対し、地域における適切な栄養ケアを継続するため、他職種との連携体制の構築や、摂食・嚥下について理解を深めることを目的として、栄養士研修会を開催する。

(概要) 令和7年度栄養士研修会(摂食・嚥下研修会)

日時	令和8年2月4日(水) 14:00～16:30
会場	静岡県下田総合庁舎 3階 旧方面本部室(下田市中531-1) (オンライン併用: 使用ソフト Zoom)
対象	給食施設(病院・介護老人保健施設・老人福祉施設・社会福祉施設等)の栄養士、看護師及び市町行政の栄養士等
内容	(1) 報告「栄養サマリー活用の可能性 令和8年改訂のねらい(仮)」 ・熱海ちとせ病院 栄養科長 下田 静 氏 ・熱海保健所 医療健康課 (2) 事例紹介「栄養サマリー活用事例」 ・医療機関[調整中](栄養サマリーを提供した事例) ・介護老人福祉施設みくらの里(栄養サマリーを提供した事例) ・特別養護老人ホーム伊豆高原十字の園(提供された施設の事例) (3) 講演「摂食・嚥下障害に対する栄養士からの連携(仮)」 NTT 東日本伊豆病院総合診療科 伊東市民病院耳鼻いんこう科 山田哲也 医師 (4) その他 情報交換(会場参加者のみ)
主催	賀茂保健所・熱海保健所・給食協会熱海伊東支部

※栄養サマリー…患者や入所者の方が転院・転所しても、スムーズに安心・安全な食事を提供するために、食事の内容・形態・摂取状況、その他食事を提供する際に必要な身体状況等の情報を提供するツール

(その他)

- ・熱海保健所、給食協会熱海伊東支部と共催のため、講師はオンライン参加です。
- ・取材いただける場合は前日までに下記担当まで御連絡ください。

担 当 健康増進課 栗 崎
 電話番号 0558-24-2036
 メールアドレス kfkamo-kenzou@pref.shizuoka.lg.jp

令和8年1月23日

定例記者懇談会資料

日常活動や研究成果の発表を行う研究会を開催します！

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

賀茂地域の保健・医療・福祉関係者の資質向上並びに関係機関の情報交換及び連携を図るため、日常活動や研究成果の発表などを行う地域保健医療福祉活動研究会を開催します。

(概要) 令和7年度地域保健医療福祉活動研究会

日 時	令和8年2月9日(月) 13:30~16:30
会 場	静岡県下田総合庁舎2階 第8会議室 (下田市中531-1)
対 象	賀茂地域の保健、医療、介護、福祉、行政機関等の従事者
内 容	(1) 講話「日頃の業務から課題を発見し、地域事業へ活かすには」 順天堂大学保健看護学部 教授 酒井 太一 氏 (2) 活動発表 ※発表される研究テーマは別添御案内のとおり (3) 講評及び助言 順天堂大学保健看護学部 教授 酒井 太一 氏

(その他)

- ・本研究会は、平成16年度から実施しております。
- ・当日取材にお越しいただく場合は、前日までに担当まで御連絡をお願いします。

担 当：健康増進課

連絡先：0558-24-2037

(別添)

令和7年度 地域保健医療福祉活動研究会の御案内

1 目的

賀茂地域の保健・医療・福祉関係者の資質向上並びに関係機関の情報交換及び連携を図るため、日常活動や研究成果の発表などを行う研究会を開催する。

2 日時

令和8年2月9日(月) 13:30～16:30

3 会場

静岡県下田総合庁舎 2階 第8会議室(賀茂キャンパス)

4 内容

(1)講話「日頃の業務から課題を発見し、地域事業へ活かすには」

順天堂大学保健看護学部 教授 酒井 太一 氏

(2)活動発表

賀茂管内の医療機関における感染対策の取り組みについて 賀茂健康福祉センター 地域医療課 平山 智子
尿道留置カテーテルサーベイランスを機に行った地域包括ケア病棟への関わり ～尿道留置カテーテル抜去基準に対してのアセスメント向上を目指して～ 下田メディカルセンター 看護師 大年 聖子
心肺停止状態から社会復帰まで、チームで繋いだ命のバトン ～怒涛の反復で身に付けた急変時初期対応～ 西伊豆健育会病院 看護師 濱崎 智葵
地域包括ケア病棟における在院日数 40 日超過患者の特徴について 西伊豆健育会病院 看護師 松本 美紀子
今も変わらぬ生活を～老いてるなんて言わせない～ 特別養護老人ホーム 梓の里 介護福祉士 金崎 真理絵
職員も高齢化する施設でICT推進！？ 特別養護老人ホーム太陽の里 生活相談員 石田 勝
伊豆最南端の高齢者に“食”を運ぶ 介護老人福祉施設 みくらの里 生活相談員 柏木 育美
イベント復活！～より多くのご利用者楽しんで頂きたい～ 介護老人福祉施設 みくらの里 管理栄養士 菊地 裕美
賀茂地域のひきこもり支援体制を整備するための取り組みについて 賀茂健康福祉センター 福祉課 相良 珠希
がん検診の受診率向上のための効果的な勧奨方法について 南伊豆町 健康増進課 榊原 伊吹

(3)講評及び助言

順天堂大学保健看護学部 教授 酒井 太一 氏

5 対象者

賀茂地域の保健、医療、介護、福祉、行政機関等の従事者

6 実施主体

賀茂健康福祉センター及び賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターの共催

令和8年1月23日

定例記者懇談会資料

工事安全パトロールの実施

(賀茂農林事務所)

1 主 旨

賀茂農林事務所発注工事における労働災害事故の防止を図り、工事現場で一層の安全確保の意識を高めるため、現在施工中の工事現場をパトロールし、受注者等に安全確保を指導する。

2 概 要

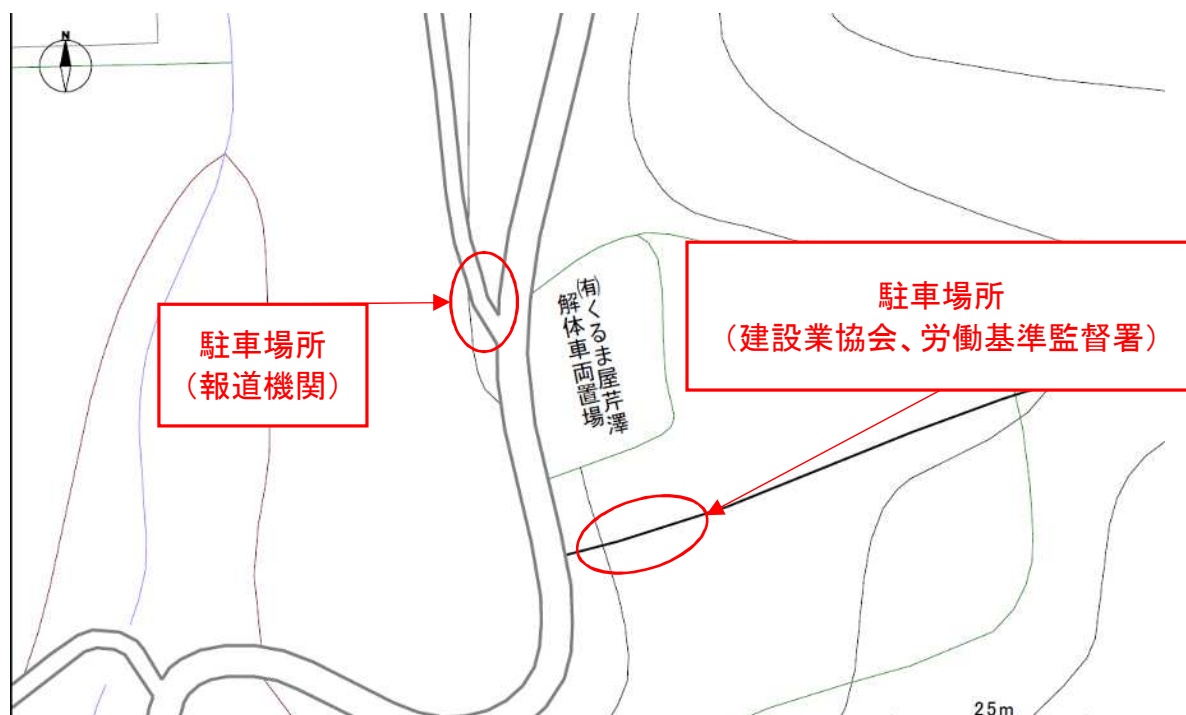
実 施 日	令和8年2月5日（木）10：20～11：20
実施場所	下田市北湯ヶ野
参 加 者	三島労働基準監督署下田駐在事務所長 下田建設業協会安全委員、賀茂農林事務所職員
主 催	賀茂農林事務所
パトロールする 工事現場	・工 事 名／令和6年度治山（緊急予防）田ノ久保工事 ・受 注 者／井出運送（有） ・工事概要／谷止工 1基
そ の 他	・取材いただける場合は、前日までに下記担当まで御連絡ください。 ・当日は、現地（別紙参照）に10：20までにお越しください。

担 当：総務課 永井
連絡先：0558-24-2074

(別紙)
案内図



拡大図



第17回 伊豆農業研究センター 公開デー

静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター

伊豆農業研究センターでは、日頃の試験研究成果を広く県民の皆様にお知らせするため、公開デーを開催します。当日は、施設の一部を一般開放するとともに各種研究成果の展示、新しいカンキツ類の試食（食味調査）を行ないます。

1 日時 令和8年2月23日（月曜日・祝日）9：30～15：00

2 場所 伊豆農業研究センター 賀茂郡東伊豆町稲取 3012

3 内容

（1）研究施設（温室、ほ場）の公開

（2）試験研究新技術展示

- ・研究成果の動画上映、パネル展示
- ・ワサビ、花きの育成品種展示

（3）研究員による講演【予約不要】

①12:30～12:50 畑わさびの生産について（わさび生産技術科）

②14:00～14:20 伊豆地域に適した中晩柑（生育・加工技術科）

（4）カンキツ類新品種の試食【予約制】※

開始時間 10:00、10:30、11:00、11:30、13:00、13:30

※試食会は30分毎に最大15人/回で実施します

参加希望者は2/13(金)までに下記の申込フォームかFAXで申込みください。様式は自由で、氏名と連絡先、希望会を記載してください（団体での参加は代表者の必要事項と人数を記載）。

※詳細な内容は、ホームページに掲載しますので確認ください

※農産物の販売は行いません

【問合せ・参加申込】



HP



申込フォーム

【連絡先】伊豆農業研究センター

電話 0557-95-2341

FAX 0557-95-0533

mail agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

春季観光イベント期間における道路工事の自粛について

(下田土木事務所)

(目的)

春季観光イベント時期の車両増加を考慮し、周辺道路の円滑な車両交通の確保を図るため、工事施工業者及び占用工事関係者の方々の協力の下、車線規制を伴う道路工事を自粛する。

(概要)

1 期間及び時間帯

期間 令和8年2月1日（日）から令和8年2月28日（土）まで

時間 6：00～20：00

2 工事自粛の対象路線

- ・一般国道 135号（下田土木事務所管内全線）
- ・一般国道 136号（下田市中島橋交差点～南伊豆町下賀茂交差点）
- ・一般国道 414号（新天城トンネル～下佐ヶ野交差点）
- ・主要地方道 下佐ヶ野谷津線（全線）
- ・一般県道 稲取停車場線（全線）
- ・一般県道 稲取港線（全線）

3 工事自粛の内容

- ・対象時間帯においては、車線規制を伴う工事を自粛し、車線規制は資機材搬入等一時的なものに限定する。
- ・車線規制を伴わない工事の際は、道路工事着手前と同等の車道幅員を確保する。
- ・以上のとおり道路工事を自粛し、円滑な車両交通の確保に努める。ただし、災害等緊急を要する工事についてはこの限りではないものとする。

担 当 維持管理課管理班
連絡先 0558-24-2108

春季観光イベント期間における道路工事等の自粛について(お知らせ)

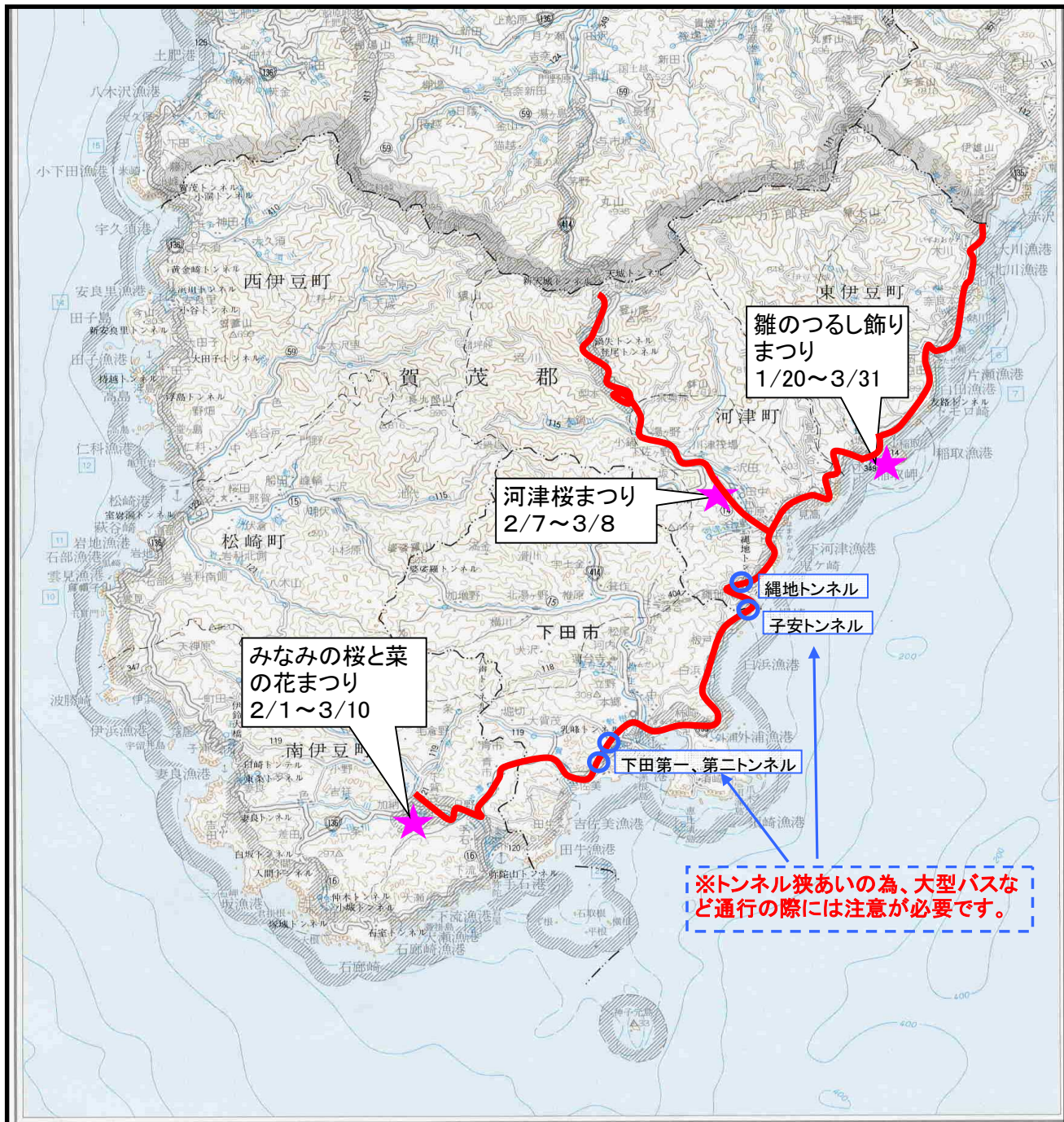
下田土木事務所では、交通量が増大する春季観光イベント期間の渋滞対策として、下記路線にて道路工事等を自粛します。

道路利用者及び道路工事等関係者の皆様につきましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

＜期間＞ 令和8年2月1日(日) ～ 令和8年2月28日(土)

＜対象路線＞ * 下記赤色着色路線

- ・国道 135号 (下田土木事務所管内全線)
- ・国道 136号 (下田市中島橋交差点～南伊豆町下賀茂交差点)
- ・国道 414号 (新天城トンネル～下佐ヶ野交差点)
- ・県道 下佐ヶ野谷津線 (全線)
- ・県道 稲取停車場線 (全線)
- ・県道 稲取港線 (全線)



* なお、上記内容は天候及び緊急工事(占用工事を含む)などにより変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先
〒415-0016 下田市中531-1
静岡県下田土木事務所
担当: 維持管理課
電話: 0558-24-2108